

一般質問

3月17日、18日の2日間で行った一般質問では、7人の議員が質問に立ちました。

※掲載原稿は質問した議員本人が要約したものです。

QRコードで質問の動画が見られます。

通番	質問者	質問事項	ページ
1	赤木 武男	①馬場市長が目指す天草を豊かにする・まちづくりについて ②新型コロナウイルスワクチン接種体制と接種事業計画の進捗状況等について ③「学校における置き勉」について ④公立幼稚園における預かり保育の実施について	P12
2	柴田 誠	①新型コロナウイルスの影響に対する対応について	P13
3	蓮池 良正	①核兵器禁止条約発効（2021年1月22日）にあたって ②安心して暮らせるまちづくり ③すみよいまちづくり	P13
4	益田 政昭	①選挙について ②コロナ禍の天草経済の現状と対策 ③牛深漁協跡地の開発について	P14
5	五通 俊作	①情報通信基盤整備について ②ヘルプマークとヘルプカードについて	P14
6	中村三千人	①中村前市長の7年間でふり返って ②コロナ感染予防・対策について	P15
7	浜崎 義昭	①コロナ対策応援事業について ②熊本県最大の第三種漁港整備について ③マイナンバーカードについて	P15

QRコードで質問の動画が見られます。

柴田 県独自の緊急事態宣言により、1月18日から2月7日にかけて、県全域の飲食店等に対し、営業時間短縮の要請が行われ、要請を受けた場合は、1日当たり4万円の協力が支給される。また、不要不急の外出・移動の自粛により直接影響を受けた事業者には、県から事業継続・再開支援一時金が交付されるが、国の支援と比べ十分ではない。特にタクシー、代行運転、海上タクシー、ホテル、旅館等の事業者からは、切実な声があるが、市独自で新たな支援を行う考えは。

市長 市独自の支援策として、県独自の緊急事態宣言の影響で、1月または2月の売上高が、前年または前々年同月と比較し30%以上減少している事業者には、法人20万円、個人事業者10万円を一律に支給する制度を創設したい。売上高が前年同月と比較し50%以上減少している事業者は、県の一時金と



2 柴田 誠 (政友会)

●これまでの事業者支援策の取り組みと効果について
●今後の新たな事業者支援策について

合算すると、法人60万円、個人事業者30万円の支給となる。事業所等で新型コロナウイルス感染者が発生した際の消毒費用の補助も併せて創設したい。ほかに、飲食店向け出張PCR検査費用や、休業補償を含む損害保険加入費用の補助も創設する予定である。

柴田 臨時会での提案も視野に、速やかに支援が実現するよう進めていただきたい。

3 蓮池 良正 (日本共産党)

●安心して暮らせるまちづくり
●新型コロナウイルス検査の実施支援

蓮池 天草地域において、医療・介護の事業所は多数立地しており、働く分野では、雇用者総数の内で相当の割合になる。高齢化が進み、介護保険利用者も、要介護・要支援の各認定者および介護度の進行防止へ、各ケアマネジャーさんの援助指導により、ご努力いただいている。

コロナ感染症は、どういう経路で感染するか未知の分野。変異株の出現は、世界的な動揺が起きている。

今年、ワクチン接種が順次行われ、副反応時の対応など、実施に絡む想定外の事象への備えも大切になってくる。医療・介護従事者への支援状況は。

また、PCR検査の有効期限は検査を受けた時点での判定なので、無症状の感染者を発見し、適切な感染防止を講じる必要がある。また、そもそも陽性者をどう区別するかも大切になってくる。



1 赤木 武男 (公明党)

●馬場市長の天草を豊かにする・まちづくりは
●新型コロナウイルスワクチン接種体制と接種計画について

赤木 一つの盾と3つの矢というマニフェストで、市長が目指す「天草の未来像や構想」といったビジョンについて伺う。

市長 新型コロナウイルス対策の実施を盾とし、市民全員の命と健康を守るため、市独自の制度を拡充する。3つの矢は、①健康寿命日本一の都市づくりや子ども医療費助成制度などを継続。市内全域に高速通信環境を整備し、情報通信網の地域格差を解消する。②一次産業の後継者育成支援策の拡充や上天草市、苓北町と連携し「オーラル天草」で観光価値向上と誘客推進を目指す。③役所の仕事を縦割りから横串連携へ経営改善を行い、地域が求める支所機能にし、課題解決に取り組む。また、デジタル化を推進し、行政手続の簡素化を目指す。

市民の皆様が、天草を愛し、誇りを持った幸せな天草になることを目指す。

赤木 新型コロナウイルス接種体制と接種事業計画の進捗状況は。健康増進課長 令和3年度中に65歳以上に達する方には、3月末までに個別通知を送付する。次に、基礎疾患を有し通院や入院をしている方が対象となり、その他の方は、ワクチンの供給量を踏まえ、順次接種となる。

健康福祉部長 ファイザー社製のワクチンは、3週間の間隔で2回接種が必要。1回目の接種後に2回目の予約ができるよう、市では接種医療機関に接種計画を作成するよう説明する。

